



日本一人口の多い村 よみたんそん

66号 2016年6月  
定例議会

平成28年6月末現在  
(人口41,282人)

# 議会だより



題字を書いてみて  
議会だよりの「議」  
がむずかしいのと「議  
会」のコントロール  
がむずかしいです。

なかもと りくと  
題字：仲本 陸人 (古堅南小学校4年生)



## 第32回 読谷村ハーリー大会

読谷村議会も2回目の出場!!

2016年(平成28年)9月発行  
撮影:読谷村文化協会 写真部 古堅宗助

**平成28年 第448回 臨時会 議決結果 平成28年 4月28日**

件 名	議決結果
平成28年度読谷村一般会計補正予算（第1号）	原案可決
読谷村特別職の職員の給与等並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
専決処分の承認（読谷村税条例の一部を改正する条例）を求めることについて	承 認
専決処分の承認（読谷村国民健康保険税条例の一部を改正する条例）を求めることについて	承 認

**平成28年 第449回 臨時会 議決結果 平成28年 5月26日**

件 名	議決結果
米軍属による極悪非道な女性死体遺棄事件に対する意見書	原案可決
米軍属による極悪非道な女性死体遺棄事件に対する抗議決議	原案可決

**平成28年 第450回 定例会 議決結果 平成28年 6月14日～21日**

件 名	議決結果
平成28年度読谷村一般会計補正予算（第2号）	原案可決
平成28年度読谷村国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
平成28年度読谷村下水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
平成28年度読谷村水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
読谷村印鑑条例の一部を改正する条例	原案可決
読谷村火葬場設置及び管理に関する条例	原案可決
物品供給（（仮称）読谷村新火葬場備品購入（庁用器具））契約について	可 決
指定管理者の指定（読谷村農産物集出荷貯蔵施設）について	原案可決
指定管理者の指定（読谷村地区運動広場）について	原案可決
指定管理者の指定（読谷村海水浴場）について	原案可決
固定資産評価員の選任（小橋川郁美氏）について	同 意
平成27年度読谷村繰越明許費繰越計算書（一般会計）について	報 告
平成27年度読谷村事故繰越し繰越計算書（一般会計）について	報 告
平成27年度読谷村繰越明許費繰越計算書（下水道事業特別会計）について	報 告

※ 3 ページに続く

平成28年 第450回 定例会 議決結果 平成28年6月14日～21日

件 名	議 決 結 果
平成28年度沖縄県町村土地開発公社事業計画及び予算の報告について	報 告
無謀な米海軍兵による道路交通法違反事件に対する意見書	原案可決
無謀な米海軍兵による道路交通法違反事件に対する抗議決議	原案可決
古堅南小学校グラウンドからの土埃被害の対策についての陳情	採 択
要請書（住民投票条例の制定について）	継続審査
閉会中の継続調査申出について 総務常任委員会 ○非正規職員の現状と労働条件等についての調査 文教厚生常任委員会 ○村内小・中学校の教職員ならびに児童・生徒が生き生きと活動できる環境の改善を求める陳情	決 定
議員派遣について	決 定

件 名	議 決 結 果	議 席																			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
		氏 名	與那覇 徳雄	知 花 徳栄	新 城 昭彦	山 内 政徳	山 城 正輝	仲 宗 根 盛良	仲 眞 朝雄	新 垣 修幸	當 間 良史	比 嘉 幸雄	津 波 古 菊江	上 地 利枝子	上 地 榮	伊 佐 眞武	長 浜 宗則	神 谷 嘉栄	城 間 勇	國 吉 雅和	伊 波 篤
米軍属による極悪非道な女性死体遺棄事件に対する意見書	原案可決		○	○	○	-	○	○	○	○	-	-	○	○	欠	○	-	○	○	○	○
米軍属による極悪非道な女性死体遺棄事件に対する抗議決議	原案可決		○	○	○	-	○	○	○	○	-	-	○	○	欠	○	-	○	○	○	○
古堅南小学校グラウンドからの土埃被害の対策についての陳情	原案可決		○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議案賛成者は○とし、反対者は×とします。退席者は-、欠席者は欠としています。  
議長は採決に加わらないため、斜線としています。法律により、採決に加われない議案については、除と表現しています。

# 意見書・抗議決議

## 米軍属による極悪非道な女性死体遺棄事件 に対する意見書・抗議決議

第449回

**可決**

読谷村議会は村民、県民の生命、財産、人権を守る立場から、米軍属による許し難い女性死体遺棄事件対し、激しい怒りを込めて厳重に抗議する。

平成27年7月15日

沖縄県読谷村議会

Q 村政を問う!! 一般質問



上地 榮

ダイオキシシン等はコンクリートで被覆し安全性を図る。

問 読谷補助飛行場跡の汚染対策は

答 みだしの通り対策する。

問 この問題は管理者に責任がある。管理者は誰なのか

答 昭和20年から平成18年まで、米軍が使用管理した。

問 他の自治体ではプロジエクトチームを設置して取り組んでいる。本村においても設置すべきではないか

答 環境汚染については、専門的知識や法制的な対処も必要であり、体制を確立して対応する。

ユーバンタ公園整備事業について

問 楚辺区から平成12年に事業の提出を受け、平成23

年度より約3億円の事業をする予定だったが、用地交渉が難航し実施できなかった。しかし、やっと課題が解決し事業の開始となるが具体的な計画と事業内容は

答 防衛局に5月に概算要望書を提出した。平成29年度には用地の買い戻しを行い、平成30年度に工事を実施する計画である。



ユーバンタ公園整備事業の現場

当初目標を突破した読谷村シルバー人材センター

問 永年の懸案事項であった読谷村シルバー人材センターが去年の4月から事業

開始したが、その実績等は

答 当センターの実績は、会員数100名の目標に対し139人、契約金額においては、約240万円の契約に対し740万円

で約3倍の実績を上げています。今後も施設や設備の充実、組織の法人化を進め、会員増を図ると共に、会員一人ひとりが、生きがいと健康増進につながるよう支援する。

熊本・大分地震から学ぶ本村の災害対策は

問 4月14日、16日に発生した熊本・大分のマグネチユード7及び7.3の大地震により死者49人、行方不明1人、甚大な家屋の崩壊等の大災害が発生した。本村の災害時における被災者の生活支援対策及び災害弱者の対策は

答 本村の避難場所は、広域避難場所が1か所、一時避難場所7か所、収容避難場所が28か所ある。食糧備蓄料は約3千500食を備蓄している。災害弱者対策として平成25年に読谷村災害

時要援護者避難支援計画を策定し、名簿の作成をしている。

2020年の東京5輪、パリンピックに併せ、本村から文化プログラムを発信したい

問 政府は東京5輪・パリンピックに併せ、観光客誘致や若者の雇用創出のため「文化プログラム」の認定をしているが、本村は希望するか

答 みだしの通り、本村の伝統芸能などを国内外に発信する。

読谷補助飛行場跡地における法人別区割マップについて

問 マップが出来るまでの経過を問う

答 当該マップは事業主体の県や村、各生産法人代表、NPOむらおこし共進会代表で平成20年8月から度重なる調整を経て作成した。



比嘉 幸雄

伊良皆地区運動広場

問 第447回読谷村議会において、議案第47号指定管理者の指定(伊良皆地区運動広場)については、否決されましたがその後の状況の説明を求め

答 役場が直接管理を継続しております。維持管理などにつきまして、5月1日に伊良皆自治会と「伊良皆地区運動広場維持管理委託業務契約書」を締結している。

問 建設経済常任委員会が三項目の事業を指摘している。その対策は

答 赤土の流出、運動広場の傾斜、それに伴う安全はネット等で赤土が流れないような施工が4月25日で終わっている。傾斜の安全確認についても対策はしている。使用してもらいながら検証し、今後検討していく。



伊良皆地区運動広場

読谷村地域振興センター

問 地域振興センターの施設入居状況を問う

答 JAおきなわゆんた支店、商工会、観光協会、FMよみたん、漁業組合、JAおきなわゆんた支店女性部となっている。

問 チャレンジブースの入居状況は

答 現在、入居はない。募集中である。

問 3階のカフェはどういうふうにかえているか

答 カフェについては、昼間気軽にコーヒーが飲めるような設備になつています。

しかし広さから割り出した家賃と折り合いがつかない軽食のみでは運営できないという事で現在空いた状況である。

にないが今後考えたい。

### 新公共交通システム

問 沖縄県は他県に比べ、自動車利用に過度に依存し

ており、交通渋滞が県内を始め読谷村でも大きな社会問題になつています。現実的に鉄軌道が通る計画が出たとき、大戦前にあつた軽便鉄道の復活を求め、西ルートをアピールする考えはないか

答 鉄軌道の計画については那覇く名護間を1時間で結ぶという事が前提である。問 それはそうだと思いますが、現実的にそうなるか。意見としてでも主張したら

答 2つのルートについて地元の意見も聞きながら慎重に考えていきたい。

問 ソフトボールやグラウンドゴルフなどで活用しているがトイレが無く不便である。トイレだけでも早く整備できないか

答 トイレの整備は具体的



仲宗根盛良

### 民生委員・児童委員の状況について

問 定数と充足率、委員から村への要請事項は

答 定数62人に対し60人に委嘱。委員から個人情報の有効活用と相談業務を取り扱う職員の資質向上が求められている。

問 委員を取りまく課題は

答 委員へのなり手が不足し、人員確保が難しい。

### 読谷補助飛行場跡地のダイオキシン等対策は

問 確認されてから2年余が経過し、この間の村の対応について説明を求めます。

答 平成26年4月の土壌調査により土壌汚染が確認され、県との協議により覆土処理と小提工を設置し、現在、沖縄防衛局、総合事務局との調整中の状況です。

問 現場を放置するとどうなるか

答 飛散すると大変危険であり、被覆処理を行い、囲いを設置していく。

問 土壌汚染に対処する責任はどこにあると考えるか。

答 米軍提供施設であつたところにおこつており、当時の管理者である国の責任で行うことが妥当である。

問 除去作業に伴う経費の見込みと今後の対応策は

答 県内でのダイオキシン

できないか。医療機関とも継続して連携強化をして行く。

問 役場内に特別チームを編成して対応できないか。

答 関係課と連携し、体制を整えて対処したい。

### 各自治会での防犯パトロール体制の強化を求める

問 宇座地域で展開されている「地域安全安心ステーションモデル事業」を地域の子供達の安全や犯罪のない住みよい地域づくりのため、他自治会への拡大は検討できないか

答 村内では宇座と楚辺が活動しており、防犯協会とも連携強化しながら検討をしたい。

問 同組織への加入計画は

答 村としても加入し、更なる無電柱化を推進したい。

### 返還の碑前への立看板設置について

問 以前にも提起したが、

いまだ未設置である。いつまでに設置は可能か。



立看板設置が求められる「返還の碑」前

### 無電柱化を推進する市町村長の会への加入について

問 同組織への加入計画は

答 村としても加入し、更なる無電柱化を推進したい。

いまだ未設置である。いつまでに設置は可能か。



神谷 嘉栄

### 通学路の安全確保を 伺う

**問** 村道瀬名波線（瀬名波駐在所向かい側道路から渡慶次小学校前道路との交差点まで）の路肩へ、注意喚起のためのカラー表示はできないか

**答** 昨年度、村道高志保く字座線のカラー舗装を行ったが、予算の捻出ができません、既存の区画線工事の予算80万円に30万円の補正予算を議会で承認してもらい、カラー舗装の工事が実施できた。今年度もカラー舗装の工事費については、予算化できないので、看板等設置で対応したい。

**問** 道路片側の路肩だけでもできないか



通学路の安全表示を望む！

**答** 提案されている場所についても、議論をまだし尽くしていないというふうにご考えていますので、当面、看板等の設置で対応したい。

**問** 有色、つまり、カラー表示をすることにより、人の心理上の注意喚起が働くと思えないか

**答** 当然視覚的效果があることを前提として、去年カラー舗装をしている。まず、毎年度やっている事業を確実に実施した上で検討していきたいと考えている。

### バイオマス試験研究 施設の運営事業

**問** イモゾウムシ対策で被害イモの炭化処理後の利用は

**答** 平成24年度より炭化物の利活用について試験研究を行っており、電子顕微鏡等を使用しての炭化物の畑地施用効果検証調査、炭化物の脱臭効果検証等の試験を実施している。そして、今年度は、試験研究の最終年度となっている。

**問** 現在の炭化処理後の在庫量は

**答** 試験研究というのはどこか、どこで行っているか  
**答** 琉球大学の農学部教授の皆さんでつくるNPO法人亜熱帯研究所へ委託をしている。場所は読谷村の畑や疎大の構内研究室等々の機材等を使つての研究となっている。

**答** 約700袋（70kg）を保管している。

**問** 何度で炭化処理をするのか

**答** 大体500度から550度の間。

**問** ヤチムンに光沢のある色のことについてだが、基本的に植物の灰が約120度、1250度の温度の焼成の化学反応によって、焼物の表面にガラス化して、付着したものが上薬というのだが、例えば、被害イモの炭化物をヤチムンの上薬の実験に使ってみたか。

**答** 炭を使った新しい利活用ということで農業分野で取り組んでいるが、活用範囲をいろんな調査で試す必要もあると思うので、試験という形で被害イモの炭化物を提供することは可能と思う。



上地利枝子

### 米軍属による極悪 非道な女性死体遺棄 事件について、本村 においても他人事 ではないと思う。 村民の生命と財産 権を守る立場にある 村長としての考えを 伺う

**問** 認可外保育園への助成、特に給食費についてもっと充実させる必要があると思ふが伺う

**答** 給食費について、公立認可、認可外と村からの補助については金額等の差はあると認識している。認可外施設への助成については、同じ村民の子ども達として、今後いかに社会全体で育てていくかということについては、給食費以外にも全体的な枠の中で財政も含めて検討させていただきたい。

### 社会教育、特に人材育成について具体的な取り組みは

**答** 主に家庭教育支援に力を入れており、家庭教育を向上させる講座を保護者向けに実施している。また学校教育支援のため、学校ボランティア養成講座を開催し、

**答** 度重なる米軍人による事件・事故が発生している中、またしても若い女性の尊厳が無残にも奪われるという痛ましい事件が発生したことに對し心の底から怒りがこみ上げてきます。本村においてはいち早く「オール沖繩会議主催による抗議の県民集会」へ読谷村実行委員会を結成し対応して、村議会や県議会で決議された在沖繩米軍基地の整理縮小、基地撤去や日米地位協定の抜本的な改正に向けて取り

人材育成を行っている。

**問** 介護保険総合支援事業について、健康増進センターを活用した介護予防プログラムとの連携はどのように行っているのか

**答** 総合支援事業に向けて健康増進センターを使って介護予防事業という形で、福祉課、診療所と連携して利用者を中心に無料で事業に参加していただいている。現在は予防活動として高齢化社会に向けて健康、自活した生活を維持していくために地域の自治会における通いの場、そして自主活動の支援という形で、筋力低下、寝たきり、認知症の予防という部分のプログラムを週に1回、3ヶ月間展開している。



子どもたちの給食風景

**問** 子どもの貧困問題に対する本村の取り組みについて

**答** 内閣府の「沖縄子ども貧困緊急対策事業」の補助金を活用し、4月から子ども貧困対策支援員を配置している。食事の提供や共同での調理、生活指導、家庭学習支援などを行うため「子どもの居場所」の開設に、その事業を進めているところである。



長濱 宗則

**水道の耐震化率が低い読谷村**

**問** 読谷村の水道管の法定耐用年数を超過している割合は

**答** 送配水管延長217,48キロメートルの内、4,08キロメートルで19%。

**問** 読谷村の水道管の耐震化率は

**答** 送配水管の24%。

**問** 水道事業の広域連携で財源の確保を考えていないか

**答** 県全体で広域化を図っている。読谷村は第4段階に含まれている。

**問** 災害が起こった際の給水の対策は

**答** 緊急給水袋を2千枚準備する。応急給水タンクを確保している。

**軽自動車税の月割納付と還付の対応を**

**問** 軽自動車税の税率変更を伺う

**答** 平成28年度から車種区分での課税でグリーン化特例、経年車重税が導入された。

**問** 税率変更で軽自動車税の増収額の見込み額は

**答** 約2千200万円の増収額と見込み

**問** 抹消等による月割課税は出来ないか

**答** 昭和56年に地方税法が改正され、月割課税が廃止されたため、月割による課税還付は地方税法に定めがないので出来ない。

**問** クレジットカードでの納税は考えていないか

**答** 手数料や、導入費用、セキュリティの課題もあり調査検討したい。

**公共施設のAEDを屋外に設置を**

**問** 村内でAEDを使用された事案を問う

**答** 平成26年、27年度で13件

**問** AEDを施設外に設置出来ないか

**答** 盗難や、故障など防ぐため村の施設は屋内に設置している。管理人とう調整しながら休み期間とか対応できるように連絡体制を今後考えていきたい。

**問** 村内のコンビニに設置出来ないか

**答** ニライ消防で救急ステーションの設置を進めている。



公共施設の屋外にもAEDを！

**雑草に埋もれる植栽された樹木**

**問** 植樹祭は毎年行つて22回目となる、育樹祭は過去2回しか開催されていない、維持管理に問題があるが対

応を問う

**答** 限られた予算の中で維持管理を行っているが十分な予算とは思っていない、育成も大切なので検討したい。

**錆び付く最終処分場の高額機械等**

**問** 海に近い場所なので長く活用するために塩害から防ぐために車庫を設置すべきでは

**答** 設置場所や財政面を考慮し、現時点では車庫の設置は考えていない。

**取り組むべき幼稚園の完全給食**

**問** 新設の第二給食調理の運用で幼稚園の完全給食の実施は出来ないか

**答** 新調理場の建設に当たり幼稚園の完全給食は検討しておりません。完全給食の実施の市町村は、沖縄市、嘉手納町、西原町、恩納村。



山内 政徳

**問** 高志保郵便局前の混雑対策について、郵便局との協議はどうなっているか

**答** 懸案事項でありましたが、棚上げになっていた経緯もあり、今回の要請を受けて、再度検討することを確認しております。また、両自治会長（波平・高志保）から6月2日付で読谷村長宛ての要請書も提出されており、村としまして、その要請をうけて読谷郵便局への要請書を提出する準備を進めております。

**問** 比謝横断線道路計画の概要について、説明を求む

**答** 平成24年度に路線の比較検討及び道路線形などの予備設計を行っており、その道路計画は、国道58号比謝交差点を起点とし、トリイ通信施設ゲート前（大木農耕ゲート）の読谷道路を終点とする幅員18メートル、延長約900メートルの路線となっており、平成24年度の予備設計の中での概算事業ということで工事、用地、物件等々を入れますと、約45億円の事業費となっております。

し整備を進めていきたいと考えています。

**問** 住宅照明のLED化をすすめることについて、設置費の半額（上限2万円程度）を補助する考えはなにか

**答** 現在のところ環境施策としては住宅LED化についての補助金は検討を行っておりません。

**問** 読谷村の下水道整備計画についてどうなっているか

**答** 本村の下水道の普及率は、平成27年度末現在、人口普及率は、34%です。読谷村の下水道計画は、現在、整備を進めている楚辺地域の下水道処理する楚辺処理区と座喜味地域から古堅地域までを処理する伊佐浜処理区となっております。その他の地域についても公共下水道事業や農村集落排水事業等、各種補助事業を活用

**問** 健康増進センターの利用方法について、プール利用につき、女性専用時間を設けてはどうか

**答** 公の施設として、男性や女性、高齢者や子どもなど、あらゆる住民の方が公平、平等に利用、その観点から健康増進センタープール利用で、女性だけの専用時間を設ける考えはございません。また健康増進センターでは、利用者の声を聞き、それを

管理、運営に活かしていくため、エントランスに利用者の声の投函箱を設置していますが、ご質問のような内容の要望はありません。



渋滞緩和が求められる読谷小学校裏門

**問** 村内に居住する米軍人・米軍属の実態は



國吉 雅和

**答** 平成18年の居住者数1,251人、直近の平成23年は222人です。直近が5年前の理由は、世界規模でテロ等の脅威があり、米軍の運用上の安全確保のため自治体へ公表しない。（沖縄がテロの脅威の証明？）

**問** 米軍人・米軍属10年間の事件・事故件数は

**答** 事件は11件で、「米軍トリイ基地所属兵士によるひき逃げ死亡事件」・住居侵入傷害事件・米軍車両の公共施設進入等。人身事故は116件。（住居侵入傷害事件とひき逃げ死亡事件は村民大会も実施）

**問** 預かり保育人数は60人増で支援員4名減の対策は（特に喜名幼稚園が急務である）

**答** 広報よみたん・FMよみたん・ハローワーク等での求人や役場内での呼びかけ。また、嘱託職員の内規を検討し、職員確保に努める。

**問** 子ども・子育て支援新制度後の平成27年度と平成28年度、5幼稚園の預かり保育人数と支援員数は

**答** 読谷幼稚園51人と3名 ↓59人と2名・渡慶次幼稚園40人と3名 ↓60人と2名・喜名幼稚園34人と3名 ↓58人と2名・古堅幼稚園50人と3名 ↓51人と3名・古堅南幼稚園58人と5名 ↓65人と4名。預かり保育人数と支援員を前年度と本年度比較5園で23人 ↓293人・17名 ↓13名

**問** 幼稚園保育支援員の確保厳しい

**答** 食育と午後2時までの幼稚園体制に向けて完全給食実施を求める。

**問** 幼稚園の完全給食実施を



**答** 年度末までに、読谷調  
理場改修を含めて村の方針  
固めたい。

### 幼稚園就園奨励補助 金拡充をする

**問** 村の要綱は5歳児が対  
象だが、学校教育法に基づ  
いて設置された幼稚園の3・  
4歳児も対象にすべきでは  
ないか

**答** 対象年齢や補助金の上  
限等の拡充をする。

### 法 問 就学援助の通知方

**答** 保護者に就学援助の情  
報が届く方法を検討する。

### 奨学金規程の村民税 額の制限を撤廃

**問** 社会情勢に沿った制度  
に改正することを求める。

**答** 申請時における村民税  
額の制限を撤廃し「申請者  
が多数で予算枠を超えた場  
合のみ、村民税の低い順に  
選抜する」と改正。

**問** 奨学金の定員は  
**答** 本年度の定員は60名で  
す。

**問** 奨学金償還を卒業後の  
所得に応じて返還額が変わ  
る制度を求める。

**答** 申請者の意見や他市町  
村の状況等を調査し、制度  
の検討をする。

**問** 積立金が約壹億円あり  
もつと活用すべきと考える  
が

**答** 本年度より規定の一部  
見直しを行い、より多くの  
皆さんに御利用いただける  
ようにしました。今後も貸  
費者の意見や他市町村の取  
り組みなどを参考にしながら  
有効活用について検討する。



子どもたちへの支援拡充を！



津波古菊江

### 読谷村の障がい児保 育の現状について

**問** 子ども・子育て支援制  
度（平成27年4月1日施行）  
の一般施策における障がい  
児への支援対応について伺  
う

**答** ①市町村における障が  
い児の受け入れ体制の明確  
化 ②優先利用など利用手  
続きにおける障がい児への  
配慮 ③様々な施設、事業  
において障がい児の受け入  
れを促進するための財政支  
援の強化や障がい児等の利  
用を念頭に置いた新たな事  
業類型の創設等により、障  
がい児支援の充実を図る。

**問** 障がい児の保育園への  
入所希望者人数と受け入れ  
人数について伺う（過去5  
年間の村立保育園、認可保

育園）

**答** H23希望者人数18人受  
入17人（村立10人、認可7人）  
H24年希望者10人、受入れ  
10人（村立7人、認可3人）  
H25年希望者10人、受入れ  
9人（村立6人、認可3人）  
H26年希望者12人、受入れ  
11人（村立8人、認可3人）  
H27年希望者17人、受入れ  
16人（村立8人、認可8人）  
H28年入所希望者23人（村  
立12人、認可8人）

**問** 毎年1人入所出来ない  
児童の理由は何か

**答** 母親が休職中や辞退、  
村外への転出等の理由です。

**問** 村立保育園で8名から  
4名増の12人受入れについ  
て職員対峙はどう変ったか

**答** 読谷村は他市町村より  
先駆けて障がい児保育を実  
施している実績もあり、H  
28年は3保育所で4人ずつ  
受入れた。嘱託のベテラン  
保育士にお願いしている。

**問** 未就時障害児の年度内  
の人数や受入れ人数の予測  
は出来るか、看護師の様な  
専門職はいるか

**答** 障がい児手帳や療育手  
帳を持つている児童の数は  
把握出来るが、発達障がい  
系の手帳を持つに至らない  
児童が増えている傾向にあ  
るので難しい。

**提言** 個々の障がいの状況  
が多様化と保育の充実を考  
慮して将来的に公立保育園  
の拠点をつくり、保育士や  
看護師、専門性を持った職員、  
医療が必要な児童には診療  
所と連携の図れる、認可保  
育園への指導助言が出来る  
リーダー的体制づくりを求  
める

### 沖縄語保存継承事業 について

**問** しまくとばの普及教材  
“ゆんたんざむんがたい”  
のCD付き民謡、絵本、紙  
芝居の活用状況と成果と展  
開について伺う

**答** 歴史民俗資料館で収集  
した民謡520余話を収録し、  
村内の保育園、幼稚園、小  
中学校、自治会のゆいまー  
る共生事業の中で活用、又  
図書館での貸し出しもして  
いる。

### 牧原公園の雨天時 における園路内の芝に ついて

**答** 牧原自治会と相談して  
対策する。



保育のさらなる充実を！



新城 昭彦

### 旧読谷中学校跡地について

**問** 校舎跡地の用途変更の進捗状況は

**答** 当該地の用途変更は、「第二種中高層住居専用地域」へと見直す方針であり、企業募集との整合を図りつつ進める必要があると考える。

**問** 運動場の道路と県道12号線を結ぶ東側と西側から、一本ずつ道路を通す計画は

**答** 策定した利用計画報告書からは、県道と南側の村道と結ぶ路線は計画されている。

**問** 敷地内の管理状況は

**答** 当該跡地校舎部分は、敷地内侵入防止のため進入口を全て施錠するとともに、敷地内の草刈りを年に数回行っている。

**問** 周囲の皆さんからハブの情報もあり、境界沿いの定期的な草刈りの要望もあるが

**答** 平成28年度は、シルバ―人材センターに委託契約をしており、年2回土地の境界沿いと隣地に樹木と草が影響ないように草刈り、剪定もお願いしている。

**問** 敷地内に沈砂池は設置されているか

**答** 旧読谷中学校を壊す際に、校舎跡地部分に赤土流出防止の沈砂池を設置している。

**問** 大雨の時に旧校舎跡地から、村道と運動場への雨水対策は

**答** 敷地内の維持管理も含めて、排水施設も含め清掃など、現場を確認して行きたい。

**問** 医療施設や商業施設など具体的な計画は

**答** 平成22年度に実施した調査結果より商業施設や医療施設を中心に計画して、商業施設は地元需要を満た

す小規模スーパー、医療施設は、分棟型の医療モールを想定している。

### 旧読谷中学校運動場跡地について

**問** 運動場の階段側から常時水が流れ衛生的にも悪い。対応は考えられないか

**答** 雨水の排水が悪く排水が課題となっており、既存の排水施設の清掃と維持管理に努める。

**問** 平成25年度に磁気探査の調査後グラウンドの形状が荒れている。整地が必要と考えるが

**答** 現場を確認して対応したい。

**問** 東側に子供達が利用できる広場、バスケットやサッカーやスケートボードが出来る広場の設置は出来ないか

**答** 運動場の跡地利用は住宅地を想定している。

**問** 子供達の安心安全な場

所と考えると遊具とスケープパークは必要と思うが  
**答** 跡地計画の中で一部緑地的公園も配置は想定されており、遊具とか施設は公園化される時には設置は可能かと思う。



湿地帯と化した旧読中グラウンド

### 行政区改善について

**問** 自治会への加入状況は加入率51.36%

**問** 行政区内の情報提供や安心安全見回りは

**答** 嘉手納警察署より、村内近隣市町村の犯罪状況を各公民館に報告、地域は防犯パトロールを行う。



山城 正輝

トリイ基地強化について、住民投票の必要性はない！

**答** 第446回村臨時議会において再編交付金基金条例が可決されたので住民投票の必要性はない。

飛行場跡ダイオキシ  
ン類は、発ガン性、  
体内蓄積の有害物質。  
コンクリートで被覆、  
抜本策は、専門家を  
含む特別対策チーム  
で！

**答** ダイオキシンについては、平成26年7月3日、県、村、農業法人、NPOむらおこし共進会の代表の方々に報告。この2年間は、処理をめぐって防衛局、総合事務局と調整してきた。5月12日に防衛局長に対して、村長初め、こちらから処理要請。等価交換の契約書には、2年間の対応は総合事務局で行うとなっている。基地あるがゆえの事案であり、粘り強く国と対応していきたい。

トリイ基地入口の「ようこそトリイステーション沖縄県読谷村」の看板は、誤解がないよう表記改めを連絡調整したい！





見えていますか？誤解を招く看板、撤去か訂正を！

地域の皆さんの同意も必要。

### 村道古堅パイプ道の改良は、一部未舗装があり、予算の中で検討！

**問** 平成18年に用地は村に売って協力した。イシグーが露出している。老人ホームもあり、大型車が傾いたりしている。優先度を上げるべきではないか

**答** 伊良皆地内サシジャーの川と泉の清流回復は、下水道事業で対応。水質調査は、今後検討！

### 座喜味池ン当地区内里道問題は、地域状態見て判断！

**答** 戦前は、「通り組」集落があり、「読谷山国民学校」に隣接。生活道路、波平、

都屋方面からの通学路であった。里道回復は、現在考えていない。三筆程度の袋地が発生すると考えている。一部利用されているので廃止ではない。廃止となれば、

**村長** 原発エネルギーアンケートに全廃ではなく「その他」と答えたのは、「原発ゼロにすることが重要と消費のあり方も含めたから！

**村長** 防衛大臣との懇親で比謝横断線整備を要請。防衛局との調整を回答される！



伊佐 眞武

### 嘉手納バイパスについて

**問** ①国が現在検討しているルート及び道路構造はどうなっているか

②地元の嘉手納町の意見はどうなっているか

**答** ①読谷村古堅から比謝川付近までが平面構造。比謝川付近から嘉手納町兼久までが橋梁構造の海上ルート案で関係機関と調整を行っている。

②陸上ルート案については反対意見が多く厳しいと認識している。現在の海上ルート案については、町経済への影響が懸念される事から南部国道事務所と協議中である。

**問** 嘉手納バイパスの進捗についてどう捉えているの

か村長に伺う

**答** 嘉手納側がつながれば全線開通で空港から20分、30分圏内という。非常に道路交通網が良くなる事を期待している。町長ともお話し合いをしていきたい。

### 東原遺跡について

**問** ①同遺跡は学術的にどのような評価がなされているのか。②村・県及び国指定史跡に向けてこれまでの経過はどうだったのか。

**答** ①沖繩の土器文化の始まりは、渡具知東原遺跡が発見されるまでは約3500年前までしかさかのぼる事ができないが、発掘調査で5000年前と7000年前の土器が発見された。これらの土器は本土縄文文化に属し、沖繩の土器文化の源流が本土縄文文化に由来する事が証明された貴重な遺跡と評価している。

②発掘調査直後から史跡指定に向けて調査検討すべき事案と認識しているが年々

増加する村内遺跡の緊急発掘調査を抱えてきた事から取り組めていない。

**問** 専門家から国指定レベルの遺跡と聞いているが教育長の見解を伺う

**答** 同感である。まさしく読谷村が「ユタサアルフンシ」である証拠のひとつだと思つて大変誇りにしている。研究して頑張る。



国指定レベルの遺跡と聞く東原遺跡

### 特定健診について

**問** 受診率向上のために、県営比謝団地、波平団地でも実施してはどうか

**答** 大型バス2台の駐車場所トイレやベッドのスペース確保も必要。また健診対象者数の考慮等もあり、両団地の自治会長と意見交換していきたい。

**問** 胃の検査実績が不足した場合、次年度に健診車両が確保できない問題がありますが村の対応は

**答** 本村の予算で措置すべきと考えておりますが、目標をもって双方が努力すべきだと考えている。



與那覇徳雄

座喜味川の保全と活用について

も会等で多面的機能交付金事業を活用し草刈りを実施管理・活用は地元と協議。

問 シルバー人材を活用し定期的除草計画はどうか

答 多面的交付金事業は農業者や地域住民の共同作業のため活用できない。

問 長浜2期地区環境整備事業の事業費・実施期間は

答 事業費2億6800万円実施期間は平成8年〜13年。

問 整備された広場を村民に周知して活用すべきだが

答 自然石護岸や親水護岸が整備され自然学習等に活用できると考える。

問 河川に希少種の生物は見られるホウライムラサキの生息が確認、ツバサカノコガイ、スガクワニナの貝類テナガエビやシオマネキの仲間が生息。

問 座喜味川環境水質検査等は随時行っているか

答 平成7年以降、継続的に水質調査を実施。平成27年水質調査で良質な水質である。

問 樹木等が生い茂り、散策に危険であるが管理は

答 年2回座喜味地区子ど



草が生い茂る座喜味川下流公園

平和の森球場のトイレ改修について

問 便器が土等で汚れているとの苦情はなかったか

答 苦情は受けてない。

問 トイレに土埃が入る状況だが改修等の考えは

答 改修の考えはない。

問 黒土に入れ替えた後から汚れがあるが

答 対策としてブルーシートをかけて取り組んでいる。

問 ボランティア団体が清掃活動を行っているが

答 2階トイレ清掃を行っていることは把握している。

問 清掃活動が10年経過している団体を教育功労団体として表彰すべきだが

答 清掃活動に大変感謝している。検討していきたい。

古堅給油所前交差点の信号機について

問 古堅給油所前交差点の交通事故は何件あるか

答 平成25年19件、26年12件、27年16件、28年6月現在8件。

問 県道16号線から国道バイパスへ右折信号設置で事故防止ができると思うが

答 右折信号を設置する場合は右折帯が必要。信号があれば事故防止につながる。

問 警察署・村・地域自治会と右折帯の設置要請を図ってはどうか

答 各自治会と話し合いを始めた。



當間 良史

「リゾート地域の環境整備を」

面積が必要になる事が考えられる事から、読谷村にあったものなのか検討していく。

問 今後リゾート地域及び民家と畜舎の住み分けをどう考えているか

答 現在、農業振興地域整備計画で農業を推進する地域をゾーニングして使用する農用地と畜産や農業関連施設の建設を誘導する用地があるので、今後そちらに畜産施設を誘導していく。

問 本村の西海岸沿いの施設「むら咲むら」周辺の臭いについて2年前にも質問したが、その後の状況は

答 前回の質問から変わらず、県などの関係機関の調査では、家畜排泄物法や悪臭防止法には抵触していないので、これからも関連法案を遵守するよう指導していく。

「ドクターヘリ基地の行く先は」

問 ドクターヘリとはどのような役割か

答 救命救急センターの医師及び看護師が搭乗して救急現場等に出動し、傷病者の治療を行いながら医療機関に速やかに搬送することで、救命率の向上及び後遺症の軽減を図ることを目的としたヘリコプターのこと。

問 「アイドロー液」は臭いの融和に特化した液と認識しているが、塩基成分を含んでいるため、堆肥の製造過程において、広大な敷地

を





本村から飛び立ち県内で活躍するドクターヘリ

**問** 本村高志保のリゾート地域に在るドクターヘリ発信基地が年内にも移転するとの事だがその経緯は。また、村に誘致出来ないか

**答** 事業主体である浦添総合病院が住宅地にあることから、なるべく海に近い場所としてうみの園と単年度の賃貸契約を結んでいたが、当該箇所のリゾートホテルが建設予定に伴い年内の契約となった。また、本村に誘致する考えは無い。

**「地域振興センターのブース活用を！」**

**問** 5月にオープンした地域振興センター内部に在る「チャレンジブース」が活用されていなが今後の運用は

**答** チャレンジブースは村内の出店を目指す方々を中心に、飲食物の提供や加工品などの販売を行う施設として誕生しました。今後は指定管理者であるJAおきなわのほうで出店業者の公募を行っていく。



城間 勇

**国道読谷道路及び国道58号嘉手納バイパス、沖縄西海岸道路の進捗状況について**

階で公表する予定。

**問** 国道58号嘉手納バイパス県道16号線古堅交差点から嘉手納町までの進捗状況と用地買収状況は

**答** 現在、海上ルート案として関係機関と調整を行っている。嘉手納バイパス全体の事業進捗率は約11%、全体用地進捗率は90%。

**問** 沖縄西海岸道路、読谷、嘉手納、北谷、宜野湾、浦添、那覇、豊見城、糸満までの進捗状況について

**答** 沖縄西海岸道路は、読谷村から糸満市に至る、延長約50KM間で、現在、読谷道路等6区間において調査設計、工事等が進められており、これまで那覇西道路及び豊見城道路については完成しており、糸満道路は今年度全線開通予定。読谷道路約28%、嘉手納バイパス約11%、浦添北道路約72%、那覇北道路約2%、小禄道路約13%。

**問 古堅与那久保原、松浦原地域の住環境整備について**

**答** 古堅自治会に地権者等の意向を取りまとめ、話し合いの窓口的役割を担うような組織設立を依頼しており、その状況を鑑み今後取り組むこと、外側線を設置した後の状況等を鑑みて検討したい。

**問 信号機の設置について**

**答** ファミリーマート読谷古堅店前への信号機の設置について

**答** 平成27年度と今年度においても、信号機設置の要望書を嘉手納警察署へ提出しております、今後も継続して要請してまいります。

**問 村道渡具知1号線の歩道の確保について**

**答** 外側線の設置につきましては、関係課との調整により今年度、設置を予定。



歩道の確保を！

**問** 現在、調査設計、用地買収、各種工事を推進している、県道12号線から国道58号の間では、橋梁下部工事を進めており、村道中央残波線から県道6号線では、今年度、トンネル函渠工事を発注予定。供用開始までのタイムスケジュールについては、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階



知花 徳栄

### 読谷村の子ども会活動について

**問** 現在、読谷村子ども会育成連絡協議会に加入している各字子ども会の数は

**答** 平成27年度は12団体

**問** 子ども会活動の活性化の為、村としてどのような取り組みをしているか

**答** 補助金の交付、岐阜県白川村との交流事業・子ども会委託学級の開設等

**問** 子ども会活動以外で、読谷村の子ども達が参加できる社会教育事業はあるか

**答** 子供たちのリーダー研修会、生涯学習課年間事業計画の各世帯への配布等数多くの事業がある。村外の社会教育施設においてのホタルウォッチング等の各種

体験事業を紹介している。

**問** 各字子ども会活動の特色ある事業を伺いたい

**答** 県外子ども会との交流キャンプや星座観察、視察研修、追い込み漁、芸能後継者育成等がある。

**問** 今後も将来を担う子ども達の為、読子連と提携し活動の支援を願う。

**問** 今後も将来を担う子ども達の為、読子連と提携し活動の支援を願う。

### 読谷村の埋蔵文化財について

**問** 村内の埋蔵文化財の数と内訳と発掘完了の割合は

**答** 埋蔵文化財の数は73箇所が発掘完了の割合は2割です。

**問** 発掘調査にあたる人員、人的対応は足りているか

**答** 担当職員は1名で厳しい状況もあるが嘱託職員5名を配置して対応

**問** 出土品の特徴とは

**答** 渡具知東原遺跡で沖縄最古の土器・木綿原遺跡で

箱式石棺墓が沖縄で初めて見つかり、ジュゴンの骨の彫刻等、それぞれの時代の遺物である。

**問** 現在発掘中の儀間片江原貝塚の状況と出土品は

**答** 大きくふたつの時期の遺物・遺構が発見された。約2千年前の敷石柱居跡や貝殻加工品、琉球王府時代の岩盤をはつりし作られた小道跡と火を炊いた跡が見つかっている。

**問** 片江原貝塚の保存は

**答** 現地保存と記録があるが、地役権者と交渉中である

**問** 貝塚と遺跡の違いは

**答** 貝塚は遺跡の種類の一つで、遺跡には貝塚・城跡・窯跡・集落跡・古墓等がある。遺跡の名称はその種類や特徴から片江原貝塚・座喜味城跡・喜名古窯跡と名づけられる。

**問** 県内で保存されている貝塚の代表的なものは

**答** 仲泊貝塚・萩堂貝塚・伊波貝塚は国指定史跡で現地保存がされている。

**問** 貝塚の場所がどうやって分かったか

**答** 沖縄県の貝塚の多くは戦前から今日までの長年にわたる研究者や埋蔵文化財担当職員等の地表面調査の積み重ねで発見



儀間ビーチ貝塚の調査状況

### 読谷村の農業粗生産額を伺う



新垣 修幸

**問** 平成27年度でキビ1億765万9千円、紅イモ約1億960万円、花卉11億752万6千円、牛約2億187万1千円、野菜果樹2億176万2千円

**答** 養豚の生産高がない、なかなか把握しにくいと思うが、本村の年次毎の生産高を常に把握していないといけないと思う

**問** 養豚の生産高がない、なかなか把握しにくいと思うが、本村の年次毎の生産高を常に把握していないといけないと思う

**答** 出荷団体の協力がないとできない。連携しながら年次毎の総生産額を出せるものは把握していきたい。

**問** 基盤整備も進み今後の生産高を上げて行くのが課題と思うが

**答** 要する品目、数量等々

**問** 基盤整備も進み今後の生産高を上げて行くのが課題と思うが

**答** 要する品目、数量等々

事前に把握して、それに伴った形で栽培していく。特にJAの方に東京市場から予約数量とか品目指定が出るので農家、法人の皆さんと確実に金になる方向を今後仕組んでいく。あとは6次産業化を含めた農商工連携の推進も合わせて図りながら所得向上に努めていきたい。

**問** 基盤整備が進んだ中、今後農業粗生産額が30億、40億と向上すればと期待するが、読谷村でいけると思われる品目があれば

**答** 大手の市場から作って欲しいという品目がインゲンと枝豆、かなり供給不足しているところでJAサイドから話が来て、既にインゲンを含めて枝豆は読谷中部地区で去年実証実験が終わっている。今後法人等含めて農家にも安定生産に向けて取り組んでいきたい。

**問** 基盤整備も進み今後の生産高を上げて行くのが課題と思うが

**答** 要する品目、数量等々

**問** 要する品目、数量等々

**答** 要する品目、数量等々

**問** 飛行場跡地に整備されたマンゴーハウス団地について、今期から初出荷を迎えるが出荷予想量と今後の見通しは

**答** 4tを見込む、今後の見通しについては技術向上が図られてくると約15t見込まれる。

**問** 何名で、面積はいくらか

**答** 三法人でやっていて、従事している方は13名、45棟あり、1万704平米の施設面積

**問** 役場の係わり方、指導体制は

**答** 従事されている方はマンゴーは初めての方々と、出荷組織のJ.Aを含めて役場の方で毎月1回の定例会を開催し講習会等々を実施している。

**問** 技術向上だけで15t見込まれますか

**答** 4月から8月にかけて県内から大量に出てくる。

施設にはボイラーが設置されていますので加温をしなからマンゴーが無い時期に高値で出荷できる時期も狙いながらだしていききたい。

**問** 読谷村のアップルとしては

**答** 贈呈品、ふるさと納税の返納品として可能性大

**問** 学校給食にも使うかは

**答** 積極的に活用したい。



初出荷を迎える村産マンゴー

## 『第8回 村民との意見交換及び議会報告会』を開催しました。

読谷村議会では、議会基本条例に基づき、年1回の議会報告会を開催し、村民の意見を拝聴し議会活動の活性化を図っております。

下記のとおり「第8回村民との意見交換会及び議会報告会」を読谷村内の各種団体・協会等の皆様と開催したところ、行政に対する多くの要望・意見等がありました。

「村民との意見交換会及び議会報告会」の内容については、『議会だより 特集号』を発行いたしますので、ご覧ください。

### ◎A班

【議員】 伊佐 眞武、與那覇 徳雄、上地 利枝子、山城 正輝、長濱 宗則

【団体名】 中部地区保護司会 読谷支部・読谷村老人クラブ連合会・読谷村婦人会・読谷村民生委員児童委員

### ◎B班

【議員】 國吉 雅和、新城 昭彦、新垣 修幸、上地 榮、神谷 嘉栄

【団体名】 読谷村交通安全母の会・読谷村PTA連合会・読谷村文化協会

### ◎C班

【議員】 仲宗根 盛良、仲眞 朝雄、津波古 菊江、知花 徳栄、伊波 篤

【団体名】 読谷村体育協会・学童軟式野球読谷支部・読谷村障害児者を守る父母の会

### ◎D班

【議員】 城間 勇、比嘉 幸雄、山内 政徳、當間 良史

【団体名】 読谷村軍用地主会・読谷村シルバー人材センター・読谷村人権擁護委員



## 読谷村議会 議員互助会 ボランティア クリーン作業を実施

読谷村議会議員互助会では、毎定例議会終了後（年4回）村内のボランティアクリーン作業を実施することとし、これまでに3回実施いたしました。

### 第1回目

日 時：平成28年1月15日（金）  
場 所：牧原線 議員12名参加



第2回 渡慶次～波平線

### 第2回目

日 時：平成28年4月15日（金）  
場 所：渡慶次～波平線 議員12名参加



第3回 楚辺座喜味線

### 第3回目

日 時：平成28年7月28日（木）  
場 所：楚辺座喜味線 議員14名参加

## 長嶺真一郎 元村議会議員（4期16年）高齢者叙勲受章

長嶺真一郎元村議会議員が総務省内閣府より、地方自治功労における高齢者叙勲を授与されました。

長嶺真一郎氏は、昭和49年9月から平成2年9月までの4期16年 読谷村議会議員としての功績が認められ、平成28年6月1日付、旭日単光章を授与されております。

### 地方自治功労（議会議員関係） 叙勲受章者のご紹介

◎（故）伊波盛永（享年82歳）  
昭和61年～平成6年 読谷村議会議員3期

◎（故）比嘉義雄（享年83歳）  
昭和45年～昭和57年 読谷村議会議員3期

◎（故）翁長林寛（享年79歳）  
昭和49年～平成2年 北谷村（町）議会議員4期



長嶺真一郎



## りっかりっか読谷村議会

6月定例会での傍聴者は、延べ48名でした。

**平成28年9月定例議会は9月12日（月）からの予定です。**

◎議会の日程についてホームページでお知らせしております◎

読谷村公式ホームページアドレス

<http://www.yomitan.jp>

〈お問い合わせ〉

議会事務局 TEL 098-982-9225